

工事番号		工事名			
会社名			連絡先		開札日

当該価格での応札が可能となった理由

1	<p>当該価格で応札した理由 (その応札価格で当該工事が安全で良質な施工が可能となる理由。)</p>
2	<p>手持工事の状況 (契約対象工事付近(半径概ね 10 km)に別工事の現場があり、間接費の節減が可能になった。また、資材の一括購入が可能な関連工事があり低価格になった場合など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ・ 該当あり…理由、および資料
3	<p>手持資材の状況 (手持ち資材の活用が可能なおことから低価格になった場合など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ・ 該当あり…理由、および資料
4	<p>手持機械の状況 (自社保有し、現在使用していない機械の活用により低価格になった場合など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ・ 該当あり…理由、および資料
5	<p>建設副産物の搬出先 (適切な搬出地を選定していない、処理価格が不合理、発注仕様書等に合致していないことにより低価格になった場合など。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ・ 該当あり…理由、および資料
6	<p>下請会社等の協力 (下請業者の見積書等の工事内容(規模・工法・数量等)およびその単価(資材、労務費、市場単価)などについて、発注者の積算に比べ著しく低くなっていないか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ・ 該当あり…理由、および資料
7	<p>過去に施工した公共性のある工事名及び発注者 (過去(5ヶ年度内)に施工した公共工事(発注する工事と同一工(業)種)に、低入札調査基準価格を下回る価格で受注した工事があるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし ・ 該当あり…過去の施工実績
8	<p>その他(仮設、安全管理、現場管理等当該工事への取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特記する取組みなし ・ 特記する取組みあり…内容

(注) 当該価格での応札が可能となった理由(なぜ安価で施工できるのか等)を整理し、該当する場合は、手持工事の状況、手持資材の状況、手持機械の状況、建設副産物の搬出先、下請会社等の協力、過去に施工した公共性のある工事名及び発注者等からの面から具体的に記載し、その理由の根拠を各様式に必ず記入して下さい。